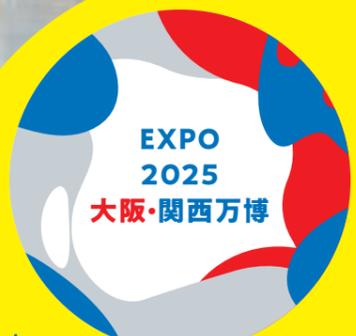


大阪 まち ボランティア

活動の記録



大阪 まちボランティア 活動の記録

Contents

- 01 **はじめに**
- 03 **インタビュー**
2025年 大阪・関西万博
ボランティア活動を振り返って
- 07 **活動状況**
活動概要 / 活動人数等・活動者の属性
- 09 ①大阪国際空港 / ②関西国際空港
- 11 ③新大阪駅 / ④大阪駅
- 13 ⑤中之島駅 / ⑥北浜駅・淀屋橋駅
- 15 ⑦なんば駅 / ⑧天王寺駅
- 17 ⑨大阪ヘルスケアパビリオン
- 19 **その他の活動**
◇JR西日本主催「関西もっと知りたいDAY!」
での万博・大阪まちボランティア活動PR /
天保山客船ターミナルでの万博PR / 大阪取
引所イベントでの万博PR / 大阪まちボラン
ティア高校生等体験プログラム
- 21 **ボランティアの交流**
◇交流スペースの設置 / 交流プログラムの開催
メッセージウォール / ボランティア活動交換
ノート / ボランティア情報等発信ミニイベント
- 23 **活動の歩み**
◇これまでの活動の歩み
◇活動準備(ボランティア募集開始 / ボランテ
ィアセンターの設置 / 記者発表会 / ボランテ
ィア募集説明会)
◇活動準備(ユニフォーム発表会 / ボランティア
登録人数の拡充 / 面談 / 研修 / 団結式)
◇活動準備(提供物 / 案内ツール)
◇閉幕(閉幕に向けた取り組み / 感謝状贈呈式)
- 29 **ボランティア活動に関するアンケート**
- 32 **大阪まちボランティアに寄せて**
(大阪公立大学・大塚耕司教授)
- 33 **大阪まちボランティアからの
ひとことメッセージ**

はじめに

大阪まちボランティアの 実施にあたって

大阪府・大阪市は、多様な方々に万博に参加していただき、多くの仲間たちと一丸となって万博を創り上げていく等、他では得られない貴重な体験をしていただく機会として、「万博の顔」となり国内外から万博を訪れる方々を駅・空港等で迎え入れる「大阪・関西万博ボランティア〈大阪まちボランティア〉」を募集しました。

万博のテーマである「いのち輝く未来社会」をデザインすること、すなわちSDGsの達成に向けては、一人ひとりができることを行動に移すことが必要です。そのためには、自発的な活動であるボランティアという存在はとても重要です。万博でのボランティア活動は、将来にわたるさまざまなボランティア活動の契機となり、ひいてはSDGsの達成に寄与することが期待されます。

本誌は、大阪・関西万博における、〈大阪まちボランティア〉の活動の記録をまとめたものです。

万博ボランティア実施にあたっての 3つのポイント

1 **さまざまな方が、自身のライフスタイル等に合わせた
気軽に参加できる**

大規模イベントのボランティアは一般的に活動日時を指定されることが多いのに対し、万博ボランティアはご本人が自由に活動シフトを選んで、半日程度でも活動できる仕組みとしました。
さらに、友人や家族などグループでの活動や、語学等の特別なスキルがなくても参加しやすい仕組みにすることで、幅広い方々の参加を可能にしました。



2 **万博理念の継承と、
SDGs達成に向けた取組み**

万博理念の継承や万博閉幕後のSDGs達成に向けては、万博ボランティアを契機としたボランティア活動の継続が重要です。そのためにはボランティア同士の交流やネットワークづくりが大きな役割を果たすことから、多くのボランティアが自由に交流できる交流スペースを設けました。
また、活動に対するボランティアの提案を運営のさまざまな場面に活かすことで、創意工夫や自発的な活動を促しました。

3 **博覧会協会(会場ボランティア)との
綿密な連携**

ボランティアの利便性の向上や効率的・効果的な運営を図るため、「募集」「面談」「研修」などあらゆる段階で、〈会場ボランティア〉を運営する「2025年日本国際博覧会協会」と相互に連携を図りました。



2025年 大阪・関西万博 ボランティア活動を振り返って

大阪まちボランティアとして活動いただいた方々の中から、6名の皆さんに、応募をした動機や実際に活動した感想などを聞きました。

最初は不安がありました、
楽しむ力を身につけて前向きな自分に成長！



「ようこそ大阪へ！」の気持ちが伝わるように、明るい笑顔で対応。



7月12日(土)にJR大阪駅で行われたJR西日本主催「関西もっと知りたいDAY！」万博PRイベントに登壇した高岡さん。(左から3人目)

高岡 美穂さん

勤務する会社では雑貨などの販売を担当。大阪まちボランティアとして、全9拠点で16回活動。

●迷った末に、一步踏み出す

私がこの万博ボランティアに応募したのは、母から1970年の大阪万博の話聞いたことがきっかけです。「万博に行って、家族の大切な思い出になった」とよく話してくれて。それで私も、時代を超えて語り継がれる万博に関わりたい、多様な文化に触れて世界とつながりたいと思うようになり、人生初のボランティアに挑戦しました。でもいざ応募するときは、自分に務まるだろうかと不安になって。応募締切の10分前まで迷いました

が、最後は「この機会を逃したらダメ。後悔したくない！」との思い

が勝ち、踏み出すことができました。

初めは肩に力が入っていましたが、緊張をやわらげ、意識を変えてくれたのが、事前研修や交流プログラムなどで出会った仲間たちです。「楽しめばいいんだよ」の言葉通り、さまざまな形で情報交換したり、関連イベントに誘い合う楽しそうな姿が新鮮で、刺激を受けました。「私も自分なりに楽しもう」と思うようになり、活動への前向きな気持ちが大きくふくらみました。

●ボランティア活動が自分の成長に

駅などで案内やPR活動をしていると、「ありがとう」「行ってみるね!」と感謝されることも多く、そのたびにやりがいを感じました。でも良かったのはそれだけではありません。自

分の仕事(販売職)にも役立つ臨機応変な対応力や積極性が鍛えられるなど、自分自身の成長につながったと思うのです。例えば、万博の魅力を伝えるイベントに出演したり、ボランティアリーダーに応募したことです。思いきって一歩前に踏み出したときの新たな扉が開く喜びや、前向きな自分の姿を示すことで周囲に楽しさが波及する手応えを感じたり。そんな貴重な経験が行動力を高め、自分の世界を広げる力になりました。

また、大阪ヘルスケアパビリオンでの活動によって、「未来をつくり、子どもに未来を見せるのは自分だ」という意識が生まれたことも大きな収穫です。この活動で得た視点や力を糧に、今後は子どもを支える活動にも目を向け、関わっていきたくと考えています。



堤 朋子さん 大阪公立大学4年生。大学のボランティアセンターでも学生スタッフとして活動。

幅広い世代の人たちと関わり、
視野が大きく広がりました。



相手に合わせて声掛けなどを工夫し、対応の質を高めた。

●万博に深く関わる期待と喜び

私は高校生の頃から、大学ではボランティアに力を入れたいと思っていました。中でも興味があったのが、大阪・関西万博です。祖父母から1970年の大阪万博がとても楽しかったと聞いていて、自分の大学生時に開催されることを絶好の機会だと思ったのです。私の実家は東京ですが、現在私が通う大阪公立大学には万博に深く関われるボランティア・市民活動センターがあることも決め

手となり、大阪に引っ越してきました。

大学に入って多くのボランティアに参加しましたが、大阪・関西万博はスケールが違いますね。関わる方も幅広いので、一気に視野が広がりました。活動シフトをコマで選べたから、学生生活にも組み込みやすかったです。

●会話を通じ、コミュニケーションアップ

開幕前のボランティア交流イベントでファンリテーターを務めさせていただいたときは、自分より年上の参加者が多く、緊張しま

した。だけど学生社会とは違う丁寧な対応や、初参加で不安を感じている方への寄り添いなどを経験して、ボランティアとしてのステップアップにつながったと思います。

また、案内などの活動の際も、以前の私は質問にただ答えるだけでしたが、相手の関心事から話題を広げて喜ばれる楽しさを知り、コミュニケーション力が高まった気がします。スケールの大きなボランティア活動だから学べた多くの経験を、今後さまざまなボランティアにも活かしていきたいです。

笑顔と親切心を分かち合えた 素晴らしい体験でした。



ボランティアセンター(大阪市・堺筋本町)の「メッセージウォール」の前で。



高橋 正和さん

普段は動画でバリアフリー情報などを発信する活動に従事。

●優しさは伝播することを実感

より多くの方に目いっぱい万博を楽しんでほしい——。そんな想いから、いつも笑顔で明るい雰囲気づくりを心掛けていました。運営スタッフの方も、我々ボランティアのやる気が高まるように、いつも場を盛り上げてくださいました。そうして一人ひとりの楽しい気分が広がっていくと、みんなが優しい気持ちになり、自然に助け合う空気が生まれるんですね。実際、車椅子に乗っている私に対して、

同じボランティアやスタッフの方があれこれと親切にサポートしてくださいました。皆さんからたくさんの優しさをもらったおかげで、自分も優しい気持ちになりましたし、それが周囲にも伝わったような気がします。

●すべての人が移動しやすい環境へ

私はもともと、車椅子ユーザーの視点で各地の観光情報などを発信する仕事に携わっていました。万博ボランティアに応募したのも、大勢の人が集まる万博会場のバリアフ

リー環境から何か気付きを得たいと思ったのです。私が活動する駅構内のバリアフリーのルートを、事前に運営スタッフの方が丁寧に教えてくださったり、移動時間なども十分確保してもらったので、活動も安心してできました。とても感謝しています。

今回のボランティア活動の経験や発見を活かし、今後も動画配信のために全国を巡るつもりです。人生は一度きり。誰もがどこにでも出かけられる環境づくりに少しでも寄与できるように、チャレンジし続けたいですね。



ボランティアは
自分の心の支えとなる
貴重な経験です。



笑顔で万博のPRを行う姚さん。



7月6日(日)にJR大阪駅で行われたJR西日本主催「関西もっと知りたいDAY!」万博PRイベントのステージに立つ姚さん。(左から2人目)

ヨウ センコウ
姚 宣宏さん

台湾出身。2025年7月にJR大阪駅で行った万博PRイベントにも大阪まちボランティアを代表して出演。



●好きな大阪に恩返ししたくて

大阪は、私が15年前に台湾から来日したとき、最初に住んだまちです。当時会社勤めをしていて、休日に出かけた吹田の万博記念公園で1970年の大阪万博のことを知り、とても興味を感じて。だから2025年の万博の開催地が大阪に決まったときは大喜びして、これは絶対ボランティアに応募しようと思ったんです。そこには「好きな大阪に恩返しをしたい」という気持ちもありました。というのは、異国に来て不安ばかりだった頃、大阪の方々が本当に親切にしてくださって、第二のふるさとのように感じていたからです。

ボランティア活動では、私なりにお役に立てたかなと思う場面もありました。大阪駅で案内していたとき、お孫さんにミャクミャクの折り紙を贈りたいというおばあちゃんが来られたんです。ミャクミャクのぬいぐるみを買

にきたのに売り切れていて、それでミャクミャク折り紙の折り方を聞きたいと。ボランティア数人が集まり目の位置とか細部まで確認しながら、折り紙のお手伝いをしました。出来上がるとすごく感激してくださって、私もうれしかったです。



ボランティアさんお手製のミャクミャク折り紙。

●ボランティア活動の価値を再認識

今回の活動は、運営スタッフの方々からの情報共有も万全でしたし、困ったときにはすぐにフォローしていただいたり、とてもやりやすかったです。ボランティアのための交流

プログラムも豊富にあって、私も何度も参加しました。高齢の方から高校生まで、普段は関与することがない年代の方たちと案内の仕方を話し合ったり、地元大阪の話題で盛り上がったたり、いろんな話ができて楽しかったですね。

私はこれまで、大阪マラソンや東京オリンピック・パラリンピックのボランティアにも参加してきました。そんな中で思うのは、ボランティア活動というのはお金を稼ぐ仕事とは違って、自発的に人や社会の役に立つ行動をすることで、自分への自信にもつながります。特に自国以外で生活していると、ときに自分のアイデンティティを自問することもあって、そんなとき多くの人と一体となって活動したこの経験は、自分で自分を認められる“心の拠りどころ”にもなるのです。好きな大阪で、またひとつ貴重な経験ができました。

人生2度目の大阪での万博、
世代を超えたご縁にも感謝。



三浦さんの周囲は、いつも和やかな雰囲気。



三浦 恵美さん

70年大阪万博を体験後、旅行業界で約30年のキャリアを積む。

●孫世代の方の成長をあと押し

私にとって初のボランティア活動で不安もありましたが、旅行関係の仕事をしていたとき社員教育を担当したこともあって、「ボランティアリーダーとして、75歳の自分から若い方に何か伝えられたら」との気持ちも持っていました。押しつけがましいかな…と迷いながらもお客様に声掛けできず悩んでいた学生さんに接客のアドバイスをあげると、次第に声を出せるようになって。「リーダーの

おかげです! 次回の活動も同じ日に予約を入れたい」とまで言ってくれて、本当にうれしかったです。他愛のないおしゃべりをしたり、連絡先を交換して食事に行く約束をするなど、世代を超えたお友達ができました。

●これまでのご恩を、若い方へ

1970年の大阪万博に行ったとき、私は20歳でした。そこで初めて外国の文化に触れ、その後30年近く旅行業界の仕事をしてきました。そうした経験を今回の万博で活かす

ことができ、とても感慨深いです。

なんば駅で20回も活動できたのは、運営スタッフの方々のおかげですね。スタッフの方とボランティアがあだ名で呼び合うなど、フレンドリーな雰囲気がいっぱい。毎回「今日も楽しく頑張ろう!」と声を出し合い、楽しく活動できました。改めて、私の人生は人の縁に恵まれてきたのだと実感。いろいろな人の助けがあったから、今の自分があります。今後は、これまで受けてきたご恩を、これからの世代の方へ返していきたいと思っています。

大阪のまち案内も手話も——
自分の強みを活かして活動。



水谷 哲也さん

国際手話を学び、人の役に立ちたいと初めてのボランティアにチャレンジ。



ボランティアセンターに貼り出された「交流プログラム」の写真を見てまわる水谷さん。

●新大阪駅でまち案内に奮闘

2025年の万博が大阪に決まってワクワクしていた頃、私は聴覚に障がいがあることから、デフリンピック*に向けた国際手話を学ぶ場に参加していました。その参加者同士で、万博ボランティアに応募してみようという話になって。私は地元が大阪なので、自分なら遠方から訪れる方に大阪のまち案内ができる“強み”があると思ったのです。実際にお客様から「たこ焼きを食べたいけど、どこに行った

らしい?」といった質問もあって、活動拠点の新大阪駅に近いお店を紹介しました。ボランティア同士助け合いながら、得意分野を活かし、人の役に立つことができた有意義な経験でした。

●活動の合間に手話の話で交流も

応募の段階では、筆談なども交えながら活動しようと思っていましたが、実際はすべての活動に手話通訳者さんが付いてくださいました。地図やリーフレットなど資料も充実し

ており、とてもありがたかったです。

ボランティア同士の交流を深めるプログラムにも、手話通訳者さんと一緒に参加しました。幅広い世代の方が集まって学ぶことも楽しかったですし、この中でスタッフの方が簡単な手話講座をしてくださったことも。また、通常の活動の合間にもボランティア仲間から「ありがとうってどうやるの?」と聞かれ、手話を教えて盛り上がったこともあります。皆さんが手話に興味を持ってくれたこともうれしかったですね。

*デフリンピック…聴覚障がい者のオリンピック

大阪まちボランティア

活動状況

大阪まちボランティアは、国内外から多くのお客様を迎える大阪府内の主要駅6か所、空港2か所、万博会場内・大阪ヘルスケアパビリオンの合計9か所で、万博のPRや案内活動を行いました。



- 活動期間
2025年4月13日(日)～10月13日(月・祝)
※天王寺駅は2025年5月1日(木)～10月13日(月・祝)
- 募集人数
10,000人
- 応募人数
21,444人
- 登録人数
16,000人
- 活動単位
個人またはグループ(4名まで)
- 活動時間
1日あたり約4時間30分
(活動前後のオリエンテーション時間含む)
- 活動日数
原則5日間
- 登録要件
2025年4月1日時点で満18歳以上の方/日本語による会話(意思疎通)が可能な方/面談、研修への参加が可能な方(特別な資格やスキルは必要なし)

- 活動グッズ・賞与品
◇ユニフォーム一式
(Tシャツ、ベスト、ハット、ポシェット)
◇ボランティア活動保険への加入
(研修及び活動期間中を補償)
- 活動費
活動日の交通費・食費相当として
2,000円分のQUOカードPay
- 配慮が必要な方への対応例
手話通訳者の派遣、介助者同行への対応、車いす利用者への移動支援、配慮が必要な内容に応じた活動ポイント調整(日光アレルギー他)、バリアフリー動線を考慮した活動場所の選定等
- 熱中症対策
冷感タオル・塩タブレット・イオン飲料粉末の配布、ウォーターサーバーの設置、活動ポイント毎の暑さ指数(WBGT)の定時での測定、休憩時間の増加、活動ポイントの変更・調整等



活動概要

●活動の内容

国内外から万博会場や大阪、関西を訪れた方々に対し、「万博の顔」として主要駅・空港等での歓迎や万博情報などの案内、大阪ヘルスケアパビリオンでの来館者サポート等の活動を実施。

- ◇万博情報の案内
- ◇交通アクセス情報の案内
- ◇観光情報の案内
- ◇ヘルスケアパビリオンでの来館者サポート等

●活動場所

- ①大阪国際空港
- ②関西国際空港
- ③新大阪駅
- ④大阪駅
- ⑤中之島駅
- ⑥北浜駅・淀屋橋駅
- ⑦なんば駅
- ⑧天王寺駅
- ⑨大阪ヘルスケアパビリオン



活動人数等・活動者の属性

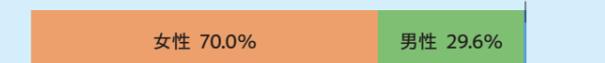
- 活動人数
10,955人
- 延べ活動人数
76,586人
- 駅・空港での案内件数
352,547件



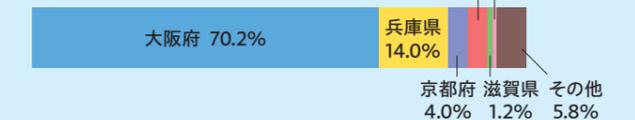
●年齢



●性別



●居住地





AREA 1 大阪国際空港

多くの来訪者で賑わう大阪国際空港では、2Fの到着フロアで案内やPR活動を実施。ミャクミャクグッズを使った記念撮影やアクセスの案内などおもてなしをしました。



AREA 2 関西国際空港

万博会場内の大屋根リングを模した木製の常設ブースが目印に、「WELCOME TO OSAKA」のサインは海外からのお客様に好評でした。ミャクミャクも時々登場し、盛り上げてくれました。



- 延べ活動人数/4,153人
- 案内件数/20,441件
- 活動場所/
◇案内ブース(カウンター)…2F 出発・到着フロア 出入口前
◇サブポイント…2F 出発・到着フロア 到着口前
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/7ポスト(うちリーダー1ポスト)
※4/29より土日祝日のみ9ポスト、6/7より全日程9ポストに増枠(うちリーダー1ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ21ポスト(うちリーダー3ポスト)
※増枠後延べ27ポスト(うちリーダー3ポスト)

- 延べ活動人数/8,813人 ●案内件数/29,498件
- 活動場所/
◇案内ブース①…1F 関西ツーリストインフォメーションセンター前
◇案内ブース②…1F 国内線到着口前
◇サブポイント…1F 国際線南到着口付近、1F 国際線北到着口付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/15ポスト(うちリーダー3ポスト)
※4/28より19ポスト、6/21より23ポスト、7/3より27ポストに増枠(うちリーダー3ポスト)

- 1日の活動ポスト/延べ45ポスト(うちリーダー9ポスト)
※増枠後延べ81ポスト(うちリーダー9ポスト)
- ＜イベント実施状況＞
- ◎ミャクミャクの登場
▶6/30(月)~7/3(木)、7/7(月)~7/11(金)、7/28(月)~8/1(金)、9/25(木)
ミャクミャクとの写真撮影を希望する来訪者への、写真サポートや誘導を行いました。
- ◎関西国際空港 航空会社合同万博PRイベント
▶7/14(月)
関西エアポートや各航空会社スタッフの方とうちわなどを配布し、万博をPRしました。

活動状況 ①



国内外から訪れたお客様に
“万博の顔”としてお出迎え。



人気者のミャクミャクが登場すると、あっという間に周囲は人だかりに。



常設ブースの隣、「大阪・関西万博に向けた関西国際空港における観光PRブース」にて、万博会場とリアルタイムで映像・音声・振動がつながる「ふれあう伝話」体験のご案内も。

ウエルカム・トゥ・オーサカ!
歓迎の気持ちを笑顔とともに。



万博会場へのシャトルバスなどの案内や、ミャクミャクパネルを背景にした記念撮影をお手伝い。



海外からのお客様にもしっかりと対応。



激励に訪れた横山大阪市長も、ミャクミャク缶バッジづくりを体験。



新大阪駅

新大阪駅は新幹線の中央コンコースとJR在来線にそれぞれブースを置いて活動しました。観光客はもちろんビジネス客も多いこの駅で、幅広い方々に万博の魅力をPRしました。



- 延べ活動人数/11,386人 ●案内件数/105,904件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース①…3F JR 新幹線 中央口改札前
 - ◇案内ブース②…3F JR 在来線 コンコース内
 - ◇サブポイント…
 - 3F JR 新幹線 南口改札前、
 - 3F JR 在来線 東改札口前、2F Osaka Metro 中改札付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00 ※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/22ポスト(うちリーダー4ポスト) ※4/28より28ポストに増枠(うちリーダー4ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ66ポスト(うちリーダー12ポスト) ※増枠後延べ84ポスト(うちリーダー12ポスト)
- 控所/中央口新幹線自動きつぷうりば横
- ＜イベント実施状況＞
- ◎JR東海 新大阪駅との合同イベント
 - ▶7/8(火)、7/9(水)、8/7(木)、8/29(金)、9/24(水)
 JR東海の職員の方々と協力し、ドクターイエローの顔出しパネル(フォトスポットコーナー)設置やノベルティを配布しました。

大阪駅

大阪駅では1F中央コンコースと3Fの連絡橋内にそれぞれ案内ブースを設置。サブポイントも要所に設定するなど、全活動拠点中で最大規模の活動を行いました。



- 延べ活動人数/15,313人
- 案内件数/83,135件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース①…1F 中央改札口前
 - ◇案内ブース②…3F 連絡橋口前
 - ◇サブポイント…
 - 1F 御堂筋北口/南口付近、
 - 1F 暁(あかつき)の広場、
 - 3F 大阪ステーションシティ インフォメーション付近

- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00 ※3シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/32ポスト(うちリーダー4ポスト) ※4/28より40ポストに増枠(うちリーダー4ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ96ポスト(うちリーダー12ポスト) ※増枠後延べ120ポスト(うちリーダー12ポスト)
- 控所/ディアモール大阪B2F ディアモール会議室

多くの人が行き交う新大阪駅で
万博と大阪の魅力を発信!



7月26日には吉村大阪府知事も激励に訪れました。



海外のお客様も多い新幹線中央コンコースの案内ブース。



桜島駅行き「エキスポライナー」が発車するJR在来線の改札内にも案内ブースを設置。



10月13日の閉幕日には、ホームでエキスポライナーをお見送り。

3Fのミyakymyak大階段前は、人気の撮影スポットでした。



常に多くの人で賑わう大阪駅中央コンコースの案内ブース。

関西最大のターミナル駅で
万博を盛り上げます。



3Fの案内ブース前は、電車が到着するたび大勢の人が。



人の往来が多い御堂筋口には、北口と南口にサブポイントを設置。



AREA 5

中之島駅

ボランティアが考えたオリジナル万博クイズや、手づくりミャクミャク折り紙が大人気。案内ブースには、クイズを楽しむお客様と盛り上げるボランティアたちの姿が見られました。



AREA 6

北浜駅・淀屋橋駅

北浜駅の地下通路に案内ブースを置き、サブポイントは淀屋橋駅まで移動して活動。京都方面へ出かける国内外のお客様も多く、万博以外の観光案内にも力を入れました。



- 延べ活動人数/3,252人
- 案内件数/17,033件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース…B1F 改札口横
 - ◇サブポイント…B1F 3番出口付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00, 12:00~15:00, 15:00~18:00
 - ※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/7ポスト(うちリーダー1ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ21ポスト(うちリーダー3ポスト)
- 控所/B1Fコンコース内会議室(4・5番出口付近)

〈イベント実施状況〉

◎京阪電車オリジナル万博スタンプの設置
 ▶10/4(土)~10/13(月)
 オリジナル万博スタンプを期間限定で設置。

- 延べ活動人数/5,074人
- 案内件数/25,762件
- 活動場所/
 - ◇案内ブース…B1F 京阪北浜駅 26番出口付近
 - ◇サブポイント…B1F 京阪淀屋橋駅 西改札口付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/
 - 9:00~12:00, 12:00~15:00, 15:00~18:00
 - ※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/10ポスト(うちリーダー2ポスト)
 - ※6/21より12ポストに増枠(うちリーダー2ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ30ポスト(うちリーダー6ポスト)
 - ※増枠後延べ36ポスト(うちリーダー6ポスト)
- 控所/B1F コンコース内

活動状況 ③



万博クイズや缶バッジなど
手づくりアイテムで大奮闘!

ミャクミャク折り紙や手描きのPOPなどは、ボランティアたちによる手づくりです。



オリジナル万博クイズは、外国の方向けに英語の問題も用意。子どもから大人まで多くの方々に楽しんでいただきました。



大阪取引所などがある金融の街・北浜で、万博の楽しさを発信しました。



駅周辺案内図で、目的地への行き方を説明。



万博会場行きシャトルバスの乗り場を案内。



サブポイントは多くのビジネスパーソンが忙しく行き交う淀屋橋です。



万博のPRはもちろん
関西の観光案内もおまかせ!



AREA 7

なんば駅

関西国際空港から乗り継いでくる外国人客も多い南海なんば駅。現場を盛り上げる運営スタッフの影響か、なんば駅の活動はみんな元気いっぱい。楽しむように案内&PRしていました。



- 延べ活動人数/8,782人
- 案内件数/50,284件
- 活動場所/
◇案内ブース…3F チケットカウンター付近
◇サブポイント…3F 北改札口付近、2F 中央改札口付近、1F 南海なんば高速バスターミナル行きエレベーター付近
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)

- 1シフト活動ポスト/15ポスト(うちリーダー3ポスト)
※4/28より20ポスト、6/21より22ポスト、6/27より24ポストに増枠(うちリーダー4ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ45ポスト(うちリーダー9ポスト)
※増枠後延べ72ポスト(うちリーダー12ポスト)
- 控所/OCAT



AREA 8

天王寺駅

Osaka Metroの西改札付近からJRの中央口まで、2つの駅を結んで活動した天王寺駅。さまざまな商業施設などが入り組むこのエリアで、万博のPRや周辺案内を行いました。



- 延べ活動人数/6,729人
- 案内件数/20,490件
- 活動場所/
◇案内ブース…B1F Osaka Metro 定期券発売所前
◇サブポイント…
B1F Osaka Metro 御堂筋線西改札口付近、
1F JR 中央口改札付近
- 活動期間/2025年5月1日(木)~10月13日(月・祝)

- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00
※3シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/14ポスト(うちリーダー2ポスト)
※6/27より18ポストに増枠(うちリーダー2ポスト)
- 1日の活動ポスト/延べ42ポスト(うちリーダー6ポスト)
※増枠後延べ54ポスト(うちリーダー6ポスト)
- 控所/あへのメディックス

ボランティアも元気いっぱい!



案内ブースは、チケットカウンターのある3F北改札口に設置。



なんば駅の運営スタッフは、楽しい雰囲気づくりがピカイチと評判。



なんばパークス直結の2F中央改札口でも活動を行いました。



関空からの電車がはっきりなしに到着する3F北改札のスカイオ側付近。



乗り換えの多いターミナル駅では
周辺案内も大事な活動です。



JR中央コンコースはいつも人でいっぱい。通行の邪魔にならないよう注意して活動します。



案内ブースはOsaka Metroの定期券売り場前に設置。近鉄方面へ向かう方たちにも笑顔でPR。



大阪ヘルスケアパビリオン

万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンでは、来館者の誘導やサポートを中心に活動。万博会場の雰囲気を直接感じる場所での、貴重なボランティア体験となりました。

- 延べ活動人数/12,966人
- 活動場所/エントランスエリア、リボンゲートエリア、カラダ測定ポッド、ミライのじぶん、ミライのヘルスケア1・2、アトリウムエリア
- 活動期間/2025年4月13日(日)~10月13日(月・祝)
- 活動時間/9:00~12:00、12:00~15:00、15:00~18:00、18:00~21:00
※4シフト(1シフトの活動時間3h)
- 1シフト活動ポスト/20ポスト(リーダーポスト無し)
※5/25より1~3シフト目22ポスト、4シフト目25ポスト、6/20より全シフト25ポストに増枠
- 1日の活動ポスト/延べ80ポスト
※増枠後延べ100ポスト
- 控所/バックヤード棟 ボランティア控室



2Fの吹き抜けスロープからはパビリオン全景を見渡せます。



下り勾配の2Fスロープでは、走ったり逆走しないよう到来館者を誘導。



予約不要の1Fアトリウムは常に混雑しがち。スムーズに回遊できるように誘導します。



25年後の自分と出会う「ミライのじぶん」は大人気。ここでも来館者をスムーズに案内、誘導します。



**いのち輝く未来社会に触れる
大阪ヘルスケアパビリオンに
ようこそ!**

1F入口付近では、「リボン体験」を行うためのディスプレイへの案内や、リストバンドの装着などをお手伝い。



同じく長い下りスロープが続く「ヒカリの坂道」でも、逆走などがないように案内します。



2F予約ゾーンの体験を終えて1Fに降りてきた来館者の、アトリウムへのスムーズな合流を促します。